

令和4年度 全国学力・学習状況調査より ～結果の分析と改善点～

令和4年10月発行
坂井市立春江中学校

学習面について

国語

論理の展開に注意して聞いたり、場面と描写を結び付けて内容を解釈することは概ね良好です。一方で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことには課題が見られました。また、言語の特徴や使い方に関する事項、行書の特徴を理解する問題の正答率が低かったため、言語の問題に繰り返し取り組み、定着を図っていきましょう。

学習指導要領の領域	話す・聞く	書く	読む	言語
県平均	○	○	◇	◇
全国平均	◎	◎	◎	◎

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	◇	○	△
全国平均	◎	◎	△

- ◇ 「最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。」という文を、呼びかけたり問いかけたりする表現にしない。

本校78.9%(県78.4%)

- 「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書きなさい。

正答 比ゆ

本校58.6%(県60.1%)

- 「途方に暮れた」の意味として最も適切なものを、1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 どうしてよいか分からなくなった
- 2 同じことを繰り返していた
- 3 なつかしくなった
- 4 夜になったことに気付いた

正答 1

本校85.9%(県83.7%)

- 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。

本校55.9%(県54.1%)

- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。

本校41.9%(県40.7%)

本校の平均正答率(%)の全国・県との比較

- ◎ ... 2ポイント以上の +
- ... 1ポイント以上から2ポイント未満の +
- ◇ ... ±1ポイント未満
- △ ... 1ポイント以上から2ポイント未満の -
- ▲ ... 2ポイント以上の -

- 〈留意点〉 1 調査結果から読み取れるのは、あくまでも児童生徒の学力の一部であり、学校における教育活動等の一側面です。
2 「成果」と「課題」は、学校全体の実態を示したものでなく、調査対象である「中学校第3学年」の調査時点(4月)における状況を示したものです。

数学

関数を用いて事象を捉え考察する場面で、伴って変わる二つの数量を取り出して関数関係を見だし、特徴を調べることは良好です。また、数に関する事象においても、統合的・発展的に考察する力が身につけています。しかし、基本的な計算の技能や、図形の性質を考察する場面で論理的に考察し、それを数学的に表現することに課題が見られます。今後も課題に取り組む中で、基本的な技能や思考力・表現力を身につけていきましょう。

学習指導要領の領域	数と式	図形	関数	データの活用
県平均	▲	◇	◇	◇
全国平均	◇	◎	◎	◎

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	▲	◇	△
全国平均	○	◎	△

- 一次関数の変化の割合の意味を理解している。
本校46.1%(全国37.9%)

正答 7

4 下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア	イ	ウ	エ
x ... -6 -4 -2 0 2 4 6 ...	x ... -6 -4 -2 0 2 4 6 ...	x ... -6 -4 -2 0 2 4 6 ...	x ... -6 -4 -2 0 2 4 6 ...
y ... -11 -7 -3 1 5 9 13 ...	y ... -5 -3 -1 1 3 5 7 ...	y ... -2 -1 0 1 2 3 4 ...	y ... -7 -4 -1 2 5 8 11 ...

目的に応じて指式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。

本校58.8%(全国48.7%)

6 康太さんは、2つの偶数の和がどのような場合に4の倍数になるかを調べています。

(2) 康太さんは、 $2+6=8$ のように、同じ2つの偶数の和のほかにも、4の倍数になることがあることから、さらにくわしく調べてみました。

$$\begin{aligned} 2+6 &= 8 = 4 \times 2 \\ 6+2 &= 8 = 4 \times 2 \\ 10+14 &= 24 = 4 \times 6 \\ 28+32 &= 60 = 4 \times 15 \end{aligned}$$

そして、次のように予想しました。

予想2
差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。

$2+6$ と $6+2$ は同じとみていいから、(小さい方の偶数)+(大きい方の偶数)について説明すればいいね。

上の予想2がいつでも成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2
 n を整数とすると、差が4である2つの偶数のうち、小さい方の偶数は $2n$ 、大きい方の偶数は $2n+4$ と表される。それらの和は、

$$2n + (2n + 4)$$

$$=$$

正答 $=4n+4$
 $=4(n+1)$
 $n+1$ は整数だから、 $4(n+1)$ は4の倍数である。したがって、差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。

- ▲ 自然数を素数の積で表すことに課題がある。
本校34.2%(全国52.2%)

1 42を素因数分解しなさい。

正答 $2 \times 3 \times 7$

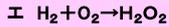
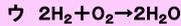
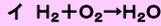
理科

知識や理解が定着している面も見られますが、それを身の回りのことに活用することに課題が見られます。単に知識としてだけでなく、それを活用して、自然の事象・現象や科学技術などを考察したり説明したりすることは、科学的に探究する能力と態度を育てる上で大切です。根拠を示し、事実と考察を区別して表現するような論理的な説明方法を身につけましょう。

学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
県平均	◇	◇	◇	△
全国平均	◎	◎	◎	○

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	◇	◇	
全国平均	◎	◎	

○ 水素の燃焼の化学反応式を、下のアからエまでのの中から1つ選



正答 ウ

本校89.4%(全国80.1%)

○ ダイオウグムシとダンゴムシの足の様子が異なる理由として、考えられることを書きなさい。

正答 ダイオウグムシは水中で泳ぎ、ダンゴムシは陸上を歩くから

本校83.3%(全国74.5%)

▲ 中村さんと山本さんの学校は、下の天気図のP地点にあります。タブレット型端末で空のようすを撮影し、百葉箱の観測データと関連付け、天気の変化について理科の授業で科学的に探究しました。

P地点は、標高が高いため、天気図の気圧より観測地が低くなったと考えられます。海面の気圧を図のように表す場合、P地点の空気の柱が

(A) ことで説明できます。

- ア 長くなる
- イ 短くなる
- ウ 変わらない

正答 イ

本校50.7%(全国54.2%)



生活面について

生活面のアンケート調査によると、本校生徒は、多くの項目で全国平均を上回っています。下回っていた項目は、主に学校の授業以外の学習時間がまだ十分ではないことでした。家庭との連携・協力を図りながら、生徒の学習に対する意識を高め、改善していきたいと思えます。

良いところ

[生徒質問紙より]

- ☺ **規則正しい生活を送っている生徒が多い。**
 - ・朝食を毎朝食べる。 本校95.2%(全国91.9%)
 - ・毎日同じくらいの時刻に寝る。 本校86.2%(全国79.9%)
 - ・毎日同じくらいの時刻に起きる。 本校95.1%(全国92.2%)
- ☺ **学校生活で友達と良好な関係が見られる。**
 - ・学校に行くのは楽しい。 本校87.5%(全国82.9%)
 - ・友達と協力するのは楽しい。 本校96.8%(全国93.7%)
- ☺ **見通しをもって、他と協働しながら勉強している。**
 - ・家で自分で計画を立てて勉強している。 本校74.1%(全国58.5%)
 - ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。 本校87.5%(全国76.9%)
- ☺ **地域の活動に意欲的である。**
 - ・今住んでいる地域の行事に参加している。 本校50.9%(全国40.0%)
- ☺ **ICT機器に関心がある。**
 - ・学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。 本校94.2%(全国92.6%)

見直してほしいところ

- ☹ **家庭学習を充実させよう。**

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日まで)家庭で、塾等も含めて1時間以上学習する生徒の割合は、本校では83.5%です。全国平均は69.5%、県平均は67.1%であり、全国・県の平均よりも高くなっています。しかし、一日2時間以上勉強している生徒の割合になると、全国平均よりも低い傾向にあります。

また、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、2時間以上学習する生徒の割合は、本校では53.1%、全国平均は44.9%、県平均は45.5%であり、全国・県の平均よりも高くなっています。しかし、一日3時間以上勉強している生徒の割合になると、全国平均よりも低い傾向にあります。

3年生を対象とした調査ということもあり、家庭での学習時間を充実させ、受験対策にしっかり取り組ませる指導をしていく必要があります。

Q.学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

	3h以上	2~3h	1~2h	0.5~1h	0.5h未満	まったくしない	無回答
本校	7.1	23.7	52.7	11.6	3.1	1.3	0.5
県	4.0	19.6	43.5	22.0	7.8	3.0	0.1
全国	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9	0.1

Q.土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

	4h以上	3~4h	2~3h	1~2h	1h未満	まったくしない	無回答
本校	7.1	12.5	33.5	31.3	12.5	2.7	0.4
県	6.1	12.1	27.3	31.8	17.1	5.5	0.1
全国	7.3	13.3	24.3	25.9	19.0	10.2	0.0

